

	目標	到達項目
 <p>卒後 1～2年目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●マニュアルや指導を受けながら安全安楽な看護実践できる。 ●患者様に生活と労働の場からとらえるため、退院後訪問し事例をまとめることが出来る。 	<p>【看護実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「患者様を生活と労働の場からとらえる」看護観を知っている。 <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事例をまとめる。 <p>テーマ 「患者様の病態を科学的にとらえる」</p>
 <p>卒後 3～4年目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●患者様の個性に応じた看護が提供出来る。 ●地域で暮らす患者様の生活を考慮した医療、福祉の連携がとれる。 ●新人看護職員を指導することができる。 	<p>【看護実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●看護診断をカンファレンスで提案し、個別に応じた具体策を出すことができる。 <p>【役割 責務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●共同組織(三多摩健康友の会)班会に主体的に参加する。 <p>【研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●職場の看護研究活動に参加できる。 ●事例をまとめる <p>テーマ 「患者様の立場に立つ看護」 「医療連携」</p>
 <p>卒後 5～6年目</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●チームリーダーとしてリーダーシップが発揮出来る。 	<p>【看護実践】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地域に暮らす患者様の退院時マネジメントが出来る。 <p>【役割 責務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カンファレンスの企画・運営ができる。 <p>【教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●看護に対する自己の課題と目標達成に向け、計画的に学習できる。
 <p>卒後 7年目～</p>	<p>【臨床分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●創意工夫した看護実践ができる。 <p>【専門分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●専門領域においてコンサルテーションできる。 ●創意工夫した看護実践ができる。 	<p>【臨床分野】【役割 責務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●カンファレンスで意見を調整し解決に導くことができる。 <p>【専門分野】【役割 責務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●看護サービスの向上を図るためにリーダーシップを発揮することができる。